

2.4 産業・都市・ライフ／ワークスタイルの変化がもたらす機会

2040年に向けた社会構造の変化を展望すると、技術革新や意識革新に伴って、「産業分野」、「都市インフラ」、「ライフ／ワークスタイル」において様々な機会(チャンス)が生まれるものと見込まれます。

「産業分野」では、自動化の進展などで産業再編が進むことにより、高負荷価値産業や食・水・エネルギー生産などの補助産業、研究開発や製造拠点の価値の向上をもたらす、SDGsなどグローバル課題への対応による企業価値向上によって新市場への進出機会を獲得します。空港臨海部はものづくり企業の集積地であり、匠の技術が集積する一方、その開発工程には改善の余地は大きく、他産業との連携による発展性も期待できます。

「都市インフラ」では、陸・空・海の拠点である空港臨海部においては、ますます拡大する国際的な物流に対応すべく、インフラ更新の必要性が高く、人の移動という観点においても MaaS¹²などの新技術の導入により効率化が進むことが期待されます。同時に大規模災害時や新たな感染症発生時でのライフラインやBCP¹³の強化、ビジネスコミュニティ¹⁴、規制緩和などソフトインフラの整備も必要です。

「ライフ／ワークスタイル」では、人生 100 年時代における生涯活躍の場の拡大、誰でもどこでもいつでも働ける環境の形成、居住地や職場近接における自然環境の価値向上など、新しいキャリアの形成、新しい働き方の改革に変化をもたらします。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、産業面では国内における R&D(研究開発)拠点整備の価値が高まっていること、大規模地震などのみならず新型コロナウイルス感染症といった感染症対策も必要であること、コロナ禍において一層、自然環境が重視されていくといったことが予見されています。

産業分野	都市インフラ	ライフ／ワークスタイル
【社会構造の変化がもたらす機会】		
<ul style="list-style-type: none"> ● 自動化の進展などによる産業再編 <ul style="list-style-type: none"> ● 自動産業：スマートファクトリー¹⁵化 ● 高付加価値産業：卓越した技術・能力による高度加工や、機械に代替できない能力(新製品・新技術の創出など)の必要性 ● 補助産業：食・水・エネルギーなどの生産 ● 国内 R&D、製造拠点の価値向上 ● 企業価値向上による、新市場への進出機会の獲得 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際的な情報流・取引流・物流が拡大 ● 新技術導入による移動・コミュニケーションの円滑化 <ul style="list-style-type: none"> ● 自動運転、MaaS ● 遠隔会議、自動通訳など ● 大規模災害・新型感染症発生時のライフライン・BCP 強化 ● ソフトインフラ(ビジネスコミュニティ、法律・規制緩和など)の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人生 100 年時代における生涯活躍の場の拡大 ● 誰でもどこでもいつでも働ける環境が形成 ● 都市と自然との共生：居住地・職場近接の自然環境の価値向上

図 2-45 産業・都市・ライフ／ワークスタイルの変化がもたらす機会

¹² Mobility as a Service の略称で、地域住民や旅行者一人一人のトリップ(近距離の移動・旅行)単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済などを一括で行うサービス。

¹³ 事業継続計画(Business Continuity Plan)の略称で、企業が緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、方法、手段などを取り決めておく計画。

¹⁴ ビジネスにおいて協業、コラボレーションが促進されるようなコミュニティのこと。

¹⁵ IoT・ビッグデータ・AI・ロボットを活用し、エンジニアリングチェーンやサプライチェーンをネットワーク化・最適化・自動化した、ものづくりのスマート化に取り組む工場。